

当院における未受診妊婦・新生児の短期ならびに 長期予後に関する検討

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2023年 10月 11日 ～ 2025年 3月 31日

〔研究課題〕 当院における未受診妊婦・新生児の短期ならびに長期予後に関する検討

〔研究目的〕

未受診には全く受診をしないいわゆる“飛び込む分娩”から、数回は受診する妊婦さんまで様々です。未受診の妊婦さんは母体や新生児のリスクとなります。未受診の程度によるリスクの差は知られていない為、全てを一緒に扱うことが安全につながるかは不明です。未受診の程度による分娩経過(分娩週数・様式、出血量)、児の転帰(児体重、Apgar score、UApH、育児不良)の予後を明らかにすることで、未受診の程度によるリスクを分類し、本邦における未受診の妊婦さんのリスクを減らすことにつながることを目的とします。

〔研究意義〕

未受診妊婦を更に詳細に分類し医療を提供することで、周産期予後の改善が見込まれる可能性があります。

〔対象・研究方法〕

2010-2021年に当院で対応した未受診の妊婦さん30人を対象とします。検診を全く受けずに分娩したA群、検診回数3回以下のB群に分け、患者背景(年齢、経妊経産、婚姻の有無、国籍など)、分娩経過(分娩週数・様式、出血量)、児の転帰(児体重、Apgar score、UApH、育児不良)を検討します。解析はχ検定・wilcoxon検定を用い、 $p < 0.05$ を有意とします。

〔研究機関名〕 帝京大学ちば総合医療センター 産婦人科

〔個人情報の取り扱い〕

研究に利用する情報は、経産婦さんのお名前、住所など患者さん個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、研究終了後に電子化したデータセット等を倫理委員会に提出し、帝京大学臨床研究センター(TARC)で10年間保管後破棄します。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんが特定できる個人情報は利用しません。患者さんからご自身の情報開示等の請求は個々に対応いたします。

対象となる経産婦さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：馬場 聡 職名 助教
所属：帝京大学ちば総合医療センター 産婦人科
住所：千葉県市原市姉崎 3426-3 TEL：0436-62-1211 (代表) [内線 5108]